

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要				
事業開始年度	平成17年度～		根拠法令・例規等	備前市吉永美術館設置条例
総合計画	大項目基本構想	02 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問担当課(室)	生涯学習課
計画	中項目基本計画	03 豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち	職・氏名	主査・中原静枝
	小項目施策	11 芸術・文化活動の推進	電話	84-3839
事務事業名		04 吉永美術館管理運営事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方	
目的(何のために)	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸しギャラリーとしての貸館業務を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	郷土の歴史や文化、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	吉永美術館管理運営事業	施設の運営・維持管理・貸館業務	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	1,689	618	533
	必要人員費	人件費	0.04人	0.01人	0.05人
	事業費		2,061	724	964
財源	国	千円			
	県				
	支				
	出				
受	益	%	1.1%	3.6%	1.5%
	者				
	負				
結果指標	担	千円	2,039	698	950
	比				
	率				
結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標量	説明	789	718	671
	対前年比	%	—	91.0%	93.5%
	活動コスト	円	2,061,000	724,000	964,000
	単位当たりコスト		2,612	1,008	1,437

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
年間入館者数	成果指標名	目標値(A)	700	700	800	800
		実績値(B)	789	718	671	到達目標値
		達成率(B/A)	112.71%	102.57%	83.88%	800
成果指標設定の考え方・式や説明						
入館者数が増えることにより、市民が積極的に郷土の歴史や文化、美術に関する知識及び教養の向上を図っていると考えられる。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください>		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト 手段	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い低い
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している		
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い低い

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	全4回の所蔵展を企画。今後もPRしていくが、企画がマンネリ化しているのが現状である。						

総合評価	
美術館としての機能は利用客数の現状を考慮すると閉鎖もやむを得ない状況である。だが、郷土歴史資料の適切な保管を行うところが他になく、市が責任をもって管理運営し郷土の財産として後世に伝えていくことが必要であると思われる。	総合評価 ABCDE 高や普通や低い 高い低い D

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	利用者数の増加を図りながら、引き続き維持管理を行っていく。また、予算が縮小されていく中で、いかに現状を維持していくかが問題である。						



事業の目的やその数値目標
あるべき状態に留意しな